

2020年9月30日

**オリンパスの映像事業譲渡に関する正式契約締結のお知らせ**

本日、オリンパス株式会社（取締役 代表執行役 社長兼 CEO：竹内 康雄）は、日本産業パートナーズ株式会社（以下、「JIP」）とオリンパスの映像事業の譲渡に関する正式な契約を締結し、当社が新たに設立する当社の完全子会社（以下「映像新会社」）に対して、吸収分割により当社の映像事業を承継させたいと、2021年1月1日付で映像新会社の株式の95%をJIPが設立した特別目的会社であるOJホールディングス株式会社に譲渡することに合意しました。

オリンパスは、1936年に「ズイコー」レンズを使用したカメラの製造・販売を開始して以降、世界有数のカメラメーカーとして多くのお客様からのご支持とご愛顧をいただけてきました。また、数々の賞を受賞した「OM」シリーズや「ペン」シリーズをはじめとする小型軽量のコンパクトカメラを市場に導入した先駆者であり、高い製品品質を維持しながら、世界中の人々の生活をより豊かにしたいという想いを原動力に、革新的な技術と独自の商品開発で、競争の激しいカメラ業界で差別化を図ってまいりました。

しかしながら、近年では、スマートフォンの進化に伴う市場の急激な縮小等、デジタルカメラの市場環境は極めて厳しい状況にあります。当社はこれまでコスト構造の見直しや事業の効率化に向けたさまざまな施策に取り組んでまいりましたが、映像事業は2020年3月期まで3期連続で営業損失を計上するに至っています。

このような状況の中で、当社は、映像事業をよりコンパクトで筋肉質かつ機動的な組織構造へとすべく分社化し、JIPのもとで事業を展開することが、映像事業の自律的かつ持続的な成長を実現に資すると判断いたしました。長年にわたり革新的な製品を提供し続けてきたオリンパスの映像事業の歴史を未来につなげるために、映像新会社は新たな体制のもと、オリンパスがこれまでに培ってきたノウハウや強みを活かしながら、引き続きお客様に革新的で高品質な映像製品を提供し続けてまいります。

「オリンパス製品へのご愛顧とご支援、そして皆様の写真への情熱に心より感謝申し上げます。今回の映像事業の譲渡は、当社がこれまでお届けしてきた製品やサービスの価値を継続するための一歩です。同時に、長年当社製品をご愛顧いただいているお客様、写真愛好家の皆様のためのベストな選択であると確信しています。今後も、新会社のもとで、開発、製造、販売、サービス部門が一丸となって、皆さまのご期待に応える新製品の導入に取り組んでまいります。」（代表執行役社長兼 CEO：竹内康雄）

本契約は、研究開発・製造拠点など、オリンパスが全世界で手がけている映像事業を対象としています。映像新会社は、オリンパスが永年にわたり培った光学・画像処理技術を基礎として高い評価をいただいているZUIKO、OM等のブランドなどの強固な基盤を今後も活かしつつ、引き続き高品質で信頼性の高い製品を供給し続けるとともに、新しい環境においてこれまでの資産をさらに発展させてまいります。

映像製品に関する販売統括や研究開発部門は、東京都八王子市の映像新会社の本社所在地に移転します。また、映像製品の生産は引き続きベトナム・ドンナイ省の拠点において行われます。オリンパスが製造・販売を行ってきた映像製品のカスタマーサポートは映像新会社によって継続されます。

映像事業の譲渡の後、オリンパスは医療事業、科学事業を経営の柱とし、世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現のため、世界各国に製品・サービスを導入していきます。

映像新会社に関する情報は下記の通りです。

- 会社名： OM デジタルソリューションズ株式会社
- 所在地： 東京都八王子市
- 代表取締役： 杉本繁実
- 事業内容： ミラーレス一眼を中心としたデジタルカメラや交換レンズ、IC レコーダーなどのオーディオ製品等の製造及び販売等に関する事業
- 資本金： 未定

会社分割および株式譲渡の詳細につきましては、当社の開示資料「映像事業の譲渡のための会社分割（簡易吸収分割）及び株式譲渡に関するお知らせ」をご参照ください。

(<https://www.olympus.co.jp/ir/data/announcement/2020.html>)